

# 小岩五中誕生前〔江戸・明治・大正・戦前の昭和〕

## ●水路網のひろがり

左の地図は、明治前期に測量した水路網の分布図です。この図を見ると江戸川区内に大小さまざまな水路網が整備されていたことがわかります。

江戸川区周辺の水路網は、江戸時代に整備されていきました。平坦で低地が広がる土地条件により水田の開発がすすめられたのです。

幕府は、水害を契機に享保十三(一七二八)年、下小合村にあった古利根川の河跡を利用し、小合溜井(葛飾区水元公園内灌漑用水池)をつくり、これを水源とした用水路を整備しました。小合溜井を水源とする用水路は総称して大用水あるいは上下之割用水とよばれ大きな川でした。この用水は、南に向かって四つに分けられ、小岩用水・東井堀・中井堀・西井堀と呼ばれていました。

西小岩四・五丁目境(蔵前橋通り以北)が道路下暗渠で道路中央に歩道として残っています。蔵前橋通り以南(中央通り)は道路下暗渠となっています。

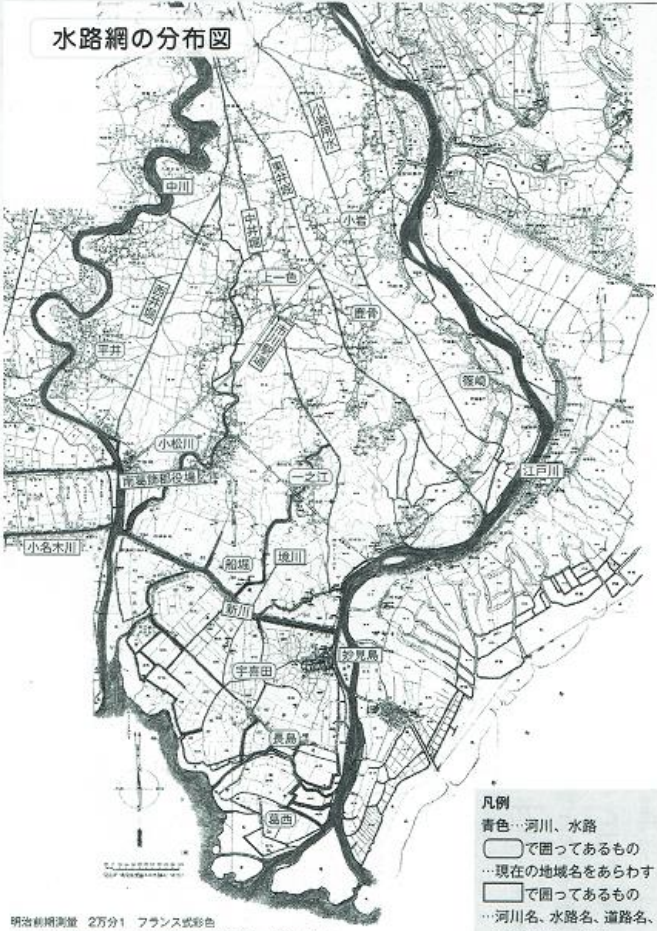
東井堀跡は、西小岩三丁目より二枚橋を経て谷河内橋付近(鹿本通り)まで道路沿いに暗渠となり、京葉道路より南の南篠崎四丁目付近までは水路で、その南の前野開門で再び暗渠となっています。

中井堀跡は、上一色町(総武線線路下暗渠より菅原橋を経て京葉道路までの道路下暗渠、それより南は環状七号線に突き当たるまで一部区間で道路と暗渠が一致しません。環状七号線以東では道路下暗渠となり春江四丁目・五丁目を経て江戸川に至ります。

西井堀は、葛飾区部分で水路及び暗渠で残っていましたが、現在では西井堀せせらぎパークとして整備されています。

主として農業用排水路として利用されましたが、現在はその役目を終え、ほとんどが暗渠になっています。いずれも道路の形状が用水路の流路を踏襲しています。

左の地形図は、昭和十二年に測量したものです。小岩用水、東井堀に、たくさんの橋が架かっています。小岩小、西小岩小、下小岩小、鹿本小学校はすでに開校しています。私たちの母校、小岩第五中学校はまだありません。千葉街道から南は、一面の田畑が広がっていました。

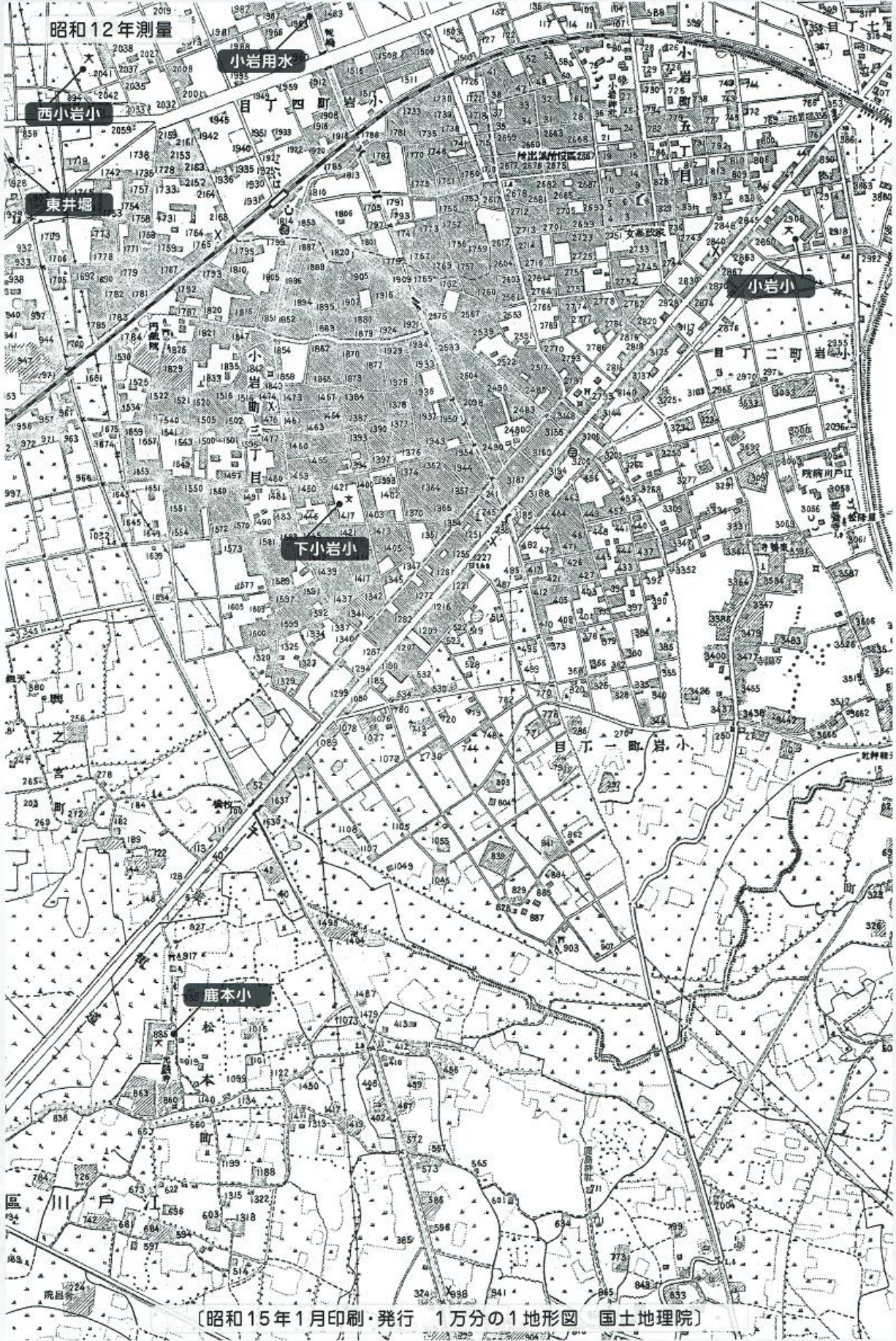


明治前期測量 2万分1 フランス式彩色 地図一第一軍曹地方二方一返測測図原図複製版をもとに作成

凡例  
青色・河川、水路  
で囲ってあるもの  
現在の地域名をあらわす  
で囲ってあるもの  
河川名、水路名、道路名、公共施設名 など

小岩用水は新宿で分かれて下小岩村まで、東井堀は曲金村で分かれて前野で江戸川に通じ、中井堀は細田村で西井堀を分けてほぼ直線で南下して新川に通じ、西井堀は旧中川に通じていました。

小岩用水跡は、



〔昭和15年1月印刷・発行 1万分の1地形図 国土地理院〕